



**令和3年度
「ピースキャンドルナイト・はだの平和の日のつどい」
開催結果**



令和3年12月25日（土）午後3時～5時30分
クアーズテック秦野カルチャーホール
①はだの平和の日のつどい「被爆体験講話」：小ホール
②ピースキャンドルナイト：市民広場

主催：秦野市／主管：ピースキャンドルナイト実行委員会

～平和の灯を未来にともす～

秦野市では、市民一人ひとりが平和や命の大切さを改めて考え語り合う機会として、平成20年に、毎年8月15日を『秦野市平和の日』と制定しました。この趣旨を広めるため、平和の日を中心に毎年様々な『平和の日事業』を行っておりますが、今回は荒天のため、12月25日に開催することとなりました。

その一つである、市民手作りのキャンドルに平和の灯をともし『ピースキャンドルナイト』は、クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）市民広場を会場に、ピースキャンドルナイト実行委員会やイベントサポーターの協力のもと、開催しました。

キャンドルの種火には被爆地・広島から持ち帰った『平和の灯』を使用し、平和な未来への希望を込めて約4,000個のキャンドルに灯をともしました。

また、今年は、小ホールを会場に、県内在住の原爆被災者の方を講師に、御自身の体験に関するお話や紙芝居の朗読をしてもらう『はだの平和の日のつどい「被爆体験講話」』を開催しました。



集まったキャンドルは、約4,000個

子供からお年寄りまで多くの皆さんが、ペットボトルを再利用して作るキャンドルの作製に協力してくれました。当日会場に持参された分も含め、計約4,000個の手作りキャンドルが集まりました。



運営を支えたのは、約20名のイベントサポーター

幅広い年齢層の人がボランティアとして参加し、キャンドルの設置から片付けまで、寒さをものともせずイベントを支えました。

来場者は、約320名



当日は、天候にも恵まれ、親子連れなど約320名が来場し、キャンドルの点火や片付けなど多くの方がイベントに参加・協力しました。そして、揺らめくキャンドルの光の中で、平和に思いをはせました。



回収したペットボトルキャップは、ワクチン購入費用に活用

キャンドルの作製と併せてお願いしたペットボトルキャップの募集では、500kgのキャップが集まりました。回収したキャップは、リサイクル業者を通じて発展途上国の子供たちのワクチン購入費用として活用されます。



「平和の日」カメラスケッチ

12:00

イベントサポーター集合・キャンドル設置

会場となるクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）に、イベントサポーターが集合。キャンドル設置についての説明を受けたあと、設置作業に取り掛かりました。



レイアウト図に沿ってキャンドルを設置する



「平和」をイメージして、様々な形に並べられたキャンドル

～キャンドル作製に協力いただいた皆さん～

- ◆保育園 第一・若木・西湘秦野・こひつじ・いまいずみ・みどり・白百合・にこにこ・第2にこにこ・なでしこ第2・山辺・虹と風・さくら・ベルフラワー
- ◆こども園 すえひろ・つるまき・ひろはた・しづさわ・みどり・サンキッズ南が丘・やまゆり
- ◆幼稚園 本町・南・東・北・大根・西・上・ほりかわ・つるまき・西秦野
- ◆小学校 本町・北・大根・西・広畑・南が丘・堀川・鶴巻
- ◆中学校 本町・南・北・西・南が丘・渋沢
- ◆婦人会 本町・東・西・北・大根・上
- ◆その他 介護老人保健施設めぐみの里・ひまわりの里・県立秦野養護学校
会場や公民館に持参した多くの市民の皆さん

15:00

はだの平和の日のつどい

被爆体験講話～平和への限りない願いを未来へ～

クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）小ホールを会場に、県内在住の原爆被災者である柴田實智子氏を講師にお招きし、御自身の被爆体験に関するお話や紙芝居「城山国民学校の物語」を朗読していただきました。



柴田氏による被爆体験講演・紙芝居朗読

16:00

ピースキャンドル点灯式

クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）市民広場中央には、NPO 法人四十八瀬川自然村制作の竹製オブジェが置かれました。

岩田委員の司会で点灯式が開会し、高橋昌和秦野市長の挨拶の後、高橋市長と森田委員長が「平和の灯」を採火し、メインキャンドルに火をともしました。

続いて、北幼稚園うぐいす組・かもめ組の皆さんが手話コーラスを披露しました（曲：「With You ありがとう」）。

その後、はだのどリーむの皆さんによるBGMが流れる中、サブキャンドルの火を使って、イベントサポーターや来場者が会場内に並べられた約4,000個のピースキャンドルに火をともしました。



市民広場に並べられたキャンドル



NPO 法人四十八瀬川自然村制作の竹製オブジェ



挨拶する高橋市長



高橋市長、森田委員長がメインキャンドルに点火



北幼稚園うぐいす組・かもめ組手話コーラス



イベントサポーターや来場者も点火に参加

◆平和の灯モニュメント

秦野市では、平成21年8月11日に平和の象徴として、市役所本庁舎の正面玄関横に「平和の灯モニュメント」を設置しました。モニュメントがともし続けている火は、被爆地・広島を訪れた「親子ひろしま訪問団」が広島平和記念公園の平和の灯を採火し、持ち帰ったものです。

この火は、「ピースキャンドルナイト」をはじめ、様々な平和推進事業で種火として活用されています。

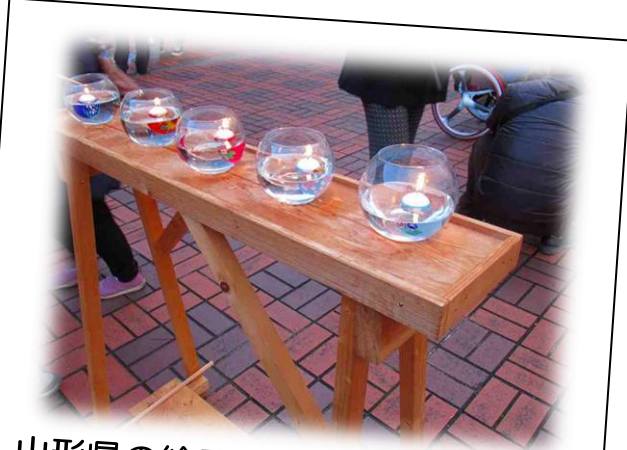


17:30 ピースキャンドルナイト閉会

「平和の灯」がともった幻想的な雰囲気の中、森田委員長の挨拶により第14回ピースキャンドルナイトは閉会しました。



photo gallery



山形県の絵ろうそくも会場を演出



◆問い合わせ◆

ピースキャンドルナイト実行委員会事務局（文化スポーツ部文化振興課内）

電話 0463-86-6309 ファクス 0463-86-6563

メールアドレス bunsin@city.hadano.kanagawa.jp